



下関北高校だより

(令和5年8月17日発行)

山口県立下関北高等学校

〒759-5511 下関市豊北町滝部 1003 番地

TEL (083) 782-0023 FAX (083) 782-0183

高校生活の様子は下関北高校HPでも紹介しています。

<http://www.shimonosekikita-hysn21.jp>



7月22日(土)に開催された「土井ヶ浜フォーラム」において、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの松下孝幸館長さんは、「未来への種をまく」取組の一環として、本年度本校で御指導いただいている地域探究の取組を紹介されました。夏季休業中、課外授業や部活動だけでなく、地域でのボランティア活動等に参加する機会もあると思いますが、**地域と関わることやまちづくりに参画することが自分の成長につながっている**という意識をもって取り組んでくれることを期待しています。



■ JRC部が韓国慶尚南道の高校生とオンライン交流



7月5日(水)、JRC部の生徒が、韓国の慶尚南道にある慶尚大学校師範大学付設高校の1・2年生とオンライン交流を実施しました。これは、昨年度始まった「山口県&慶尚南道教育庁間 日韓オンライン国際交流プログラム」の取組で、本校では昨年度に引き続き、JRC部が複数回交流することとし、今回が第1回の交流会となりました。両校の生徒はスマートフォンやタブレット端末を頼りに、一人ずつ何とか相手の国の言葉で自己紹介をしましたが、韓国の付設高校の2年生の中には流暢に日本語を話す生徒もいて驚かされました。

最初は皆緊張した面持ちでしたが、互いに質問し合う中で、好きなK-POPアイドルや曲を紹介したり、たこ焼きなど、韓国でも日本の食べ物を食べることができることを教えてくれたりと、高校生らしい話題で盛り上がりました。片言のやり取りでも互いに通じていることがわかり、生徒たちは次回の交流会を楽しみに待っています。



■ 高校野球県大会一選手も応援も力の限りを尽くしました

第105回全国高等学校野球選手権記念山口大会において、本校の1回戦は、7月12日(水)の第1試合、下関中等教育学校と山口農業高等学校西市分校の連合チームと対戦しました。連合チームとは今春までチームメートとして一緒にプレーしていたこともあり、接戦の展開となりましたが、6対4で勝利しました。続く2回戦は、7月15日(土)の第1試合、第1シードの下関国際高等学校と対戦し、1対11の5回コールド負けとはなりました。2回に1点を取り一矢報いることができましたが、主将で3年の石田竜斗くんは「もっとやれたはず」と悔しい胸の内を語ってくれました。



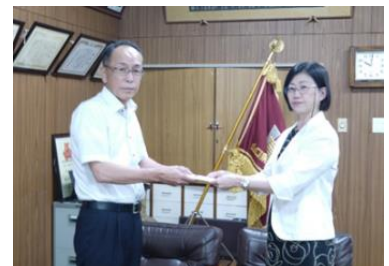
雨天・炎天の中、9人で力の限り戦い抜いた選手の皆さん、選手を声の限り応援した応援団とチアリーダー、そして応援を支えてくれた吹奏楽部、JRC部をはじめ、有志で参加してくれた生徒の皆さん、本当にお疲れさまでした。また、保護者や後援会の方々に加えて、2回戦のスタンドから大きな声援をいただいた下関中等教育学校野球部の皆さんにも感謝したいと思います。

雨天・炎天の中、9人で力の限り戦い抜いた選手の皆さん、選手を声の限り応援した応援団とチアリーダー、そして応援を支えてくれた吹奏楽部、JRC部をはじめ、有志で参加してくれた生徒の皆さん、本当にお疲れさまでした。また、保護者や後援会の方々に加えて、2回戦のスタンドから大きな声援をいただいた下関中等教育学校野球部の皆さんにも感謝したいと思います。

■ 「北高会」より御寄付をいただきました

7月13日(木)、「北高会」会長で下関市農業委員会 事務局長の小山俊治様が来校され、寄付金を校長に手渡されました。「北高会」は、下関市役所職員(主に合併前の旧豊北町役場職員)で、豊北高校卒業生のみなさんでつくっておられる団体で、会費の一部を2008年(平成20年)から継続して本校に寄付してくださっています。

「新型コロナウイルス感染症の分類も変わり、学校生活に以前のような活気が戻ってきている中、学校行事や部活動等が更に活性化するように使ってください」と、小山会長様からお言葉をいただきました。「北高会」の皆様からのお心遣いに深く感謝申し上げます、いただいた御寄付は、学校の様々な教育活動の一層の充実を図るために大切にに使わせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。



■ クラスマッチで親睦を深めました

7月18日(火)、1学期クラスマッチをチーム対抗戦で実施しました。1・2年生は各3チームに、3年生は6チームに分かれ、各チームとも運動の部(バレーボール)と文化の部(トランプ、UNO)に出場し、勝敗の結果をポイント化して総合順位を決めました。1位は2年Bチーム、2位は1年Cチーム、3位は3年Cチームという結果となりました。



熱中症が心配される蒸し暑い日でしたが、競技時間を短縮するとともに、水分補給をしながら実施し、チームの親睦を深めることができました。バレーボールのエキシビジョンマッチとして、上位チームと教員チームが対戦しましたが、先生方もチームワークのよさを発揮され、大変盛り上がりました。



■ シニア向けLINE講座で地域貢献

豊浦地区まちづくり協議会(宇賀地区担当 内藤博様)からの依頼を受け、JRC部の生徒が、7月24日(月)と27日(木)の2日間、「シニア向けLINE講座」の講師を務め、それぞれ十数名の方が参加されました。

日頃はSNSを使いこなしている高校生ですが、教えるとなるとマニュアルどおりにいかず、初日は戸惑う場面も見られました。それでも、参加された方々が温かく見守って、気さくに声をかけてくださったおかげで、徐々に距離を近くして丁寧に説明することができるようになりました。

参加者からは、「既に家族や友人とLINEでやりとりしていて、ちょっとした使い方がわからなくて困っていたが、今日、高校生に教えてもらって助かった」と感謝のお言葉をいただきました。JRC部の生徒も「教えることは難しかったけれど、少しでもお役に立てたのなら嬉しい」と感想を述べていました。今後もこうした地域の方々との交流を通して、思考力や表現力を向上させるとともに、生徒の地域への愛着心が高まることを期待します。



■ 4年ぶりに同窓会総会開催

8月6日(日)、ホテル西長門リゾートにおいて、令和5年度下関北高等学校同窓会総会(旧豊北高等学校同窓会)が開催されました。このたび、同窓会の名称が下関北高等学校同窓会に統一され、また、4年ぶりの開催ということで引継ぎ等に御苦労されたことと思いますが、田中同窓会長をはじめ、役員や幹事の方々の御尽力により、約100名の同窓生で会場は一杯になりました。



総会後の懇親会では、和やかな雰囲気の中、久しぶりに会った同級生等と旧交を温められるとともに、下関北高校に対してたくさんのエールをいただきました。同窓生の皆様が築いてこられた伝統と熱い思いを下関北高校生に末永く引き継いでいきたいと思っております。

■ 生徒会活動を振り返って(生徒会長 小泉 颯輝)

生徒会長の小泉です。昨年の9月から生徒会長を務めさせていただきましたが、下関北高校では、2年次に監査の役職をし、3年次と合わせると約2年間生徒会に所属しました。

生徒会で活動する中で、地域の方との関わりが増えていき、たくさんの方が地域の活性化に取り組んでいらっしゃるのことが分かり、私も自分のできることを見つけるきっかけになりました。また、中学生や地域の方と話し合う熟議にも参加させてもらい、自分の意見を聞いてもらったことや様々な立場の方の意見をうかがうことができたのは大変有意義な時間でした。任期は残り少なくなってきましたが、これからもボランティア活動等を通して積極的に地域と関わっていきたくと思っています。

